

# 日本一 酒田・飽海米づくり情報

第11報  
平成20年8月27日発行

酒田農業技術普及課 酒田市若浜町1-40  
TEL.22-6521 FAX.22-6522

## 登熟期の適切な水管理で登熟の向上を！

穂数、1穂籾数は平年並～やや多め、 $m^2$ 当たり籾数はやや多め。

### 1. 出穂・ $m^2$ 当たり籾数の状況

管内の出穂盛期は、平坦が8月10日頃で平年より2日遅くなりました。品種ごとには、平坦部の「はえぬき」「ひとめぼれ」で8月7日～10日頃、「コシヒカリ」や「つくばSD1号」で8月15日～17日頃の出穂となりました。

また、生育診断ほの穂揃期の生育状況を見ると、穂数や一穂籾数のバランスは違いますが、「はえぬき」「ひとめぼれ」ともに、 $m^2$ 当たり籾数はやや多い状況で、登熟向上に向けた管理が重要です。

#### 生育診断ほの穂揃期の生育状況(酒田市荻島、8/19現在)

品種・年次	出穂期 (月日)	止葉 枚	穂数 本/ $m^2$	一穂籾数 粒/本	$m^2$ 当籾数 粒/ $m^2$	葉色 SPAD	
はえぬき	H20	8月9日	12.3	473	70.7	33,400	36.9
	前年	8月6日	12.6	501	63.5	31,800	35.2
	平年	8月7日	12.2	486	64.5	31,200	32.9
	平年比	+2	+0.1	97	110	107	+4.0
ひとめぼれ	H20	8月9日	13	533	66.8	35,600	32.9
	前年	8月7日	12.2	502	66.0	33,100	35.8
	平年	8月7日	12.1	493	65.7	32,200	33.8
	平年比	+2	+0.8	108	102	111	-0.9

### 2. 登熟中期～後期も細心の水管理を徹底！

8月26日に仙台管区气象台より高温に対する「異常天候早期警戒」情報が発表され、8月31日頃から約1週間は「かなりの高温」となる見込みです。早期落水をすると、乳心白・腹白未熟粒や死米が増え品質が低下します。出穂後20～30日までは足跡に水が残っている程度とし、落水は出穂後30日以降とします。

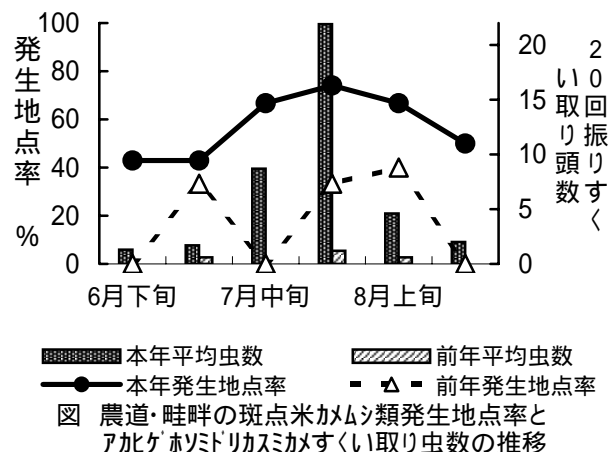
その後は、刈取り作業が出来る程度に水田を固くしますが、気象条件によっては、かん水できるようにしておきましょう。

### 3. カメムシ被害の防止！

アカヒゲホソミドリカスミカメの農道・畦畔での、掬い取り結果を見ると、8月に入っても、依然前年を上回る発生状況となっています。

8月中は特に、農道・畦畔から水田内へのカメムシ類の浸入には注意する必要があります

もし、除草を行う場合は、水田の薬剤散布計画に併せて行う必要があります。



#### 4. 適期刈取り ～積算気温を目安に総合的な判断を！～

平均気温の積算から予想される刈り取り適期の目安(平坦部)

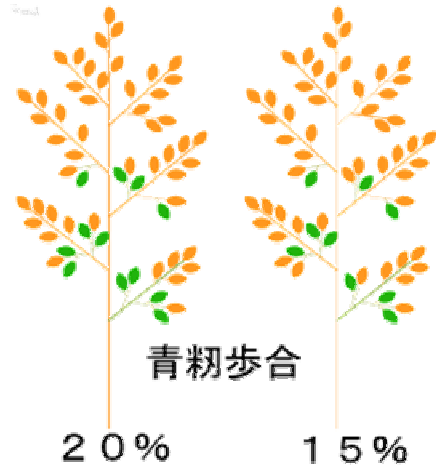
品種	出穂期	刈取適期 積算気温の範囲	刈取適期の目安		
			期間	青籾歩合	籾水分
どまんなか	8月3～5日	950～1,100	9/13～9/22	刈始め15%	25%
ひとめぼれ	8月7～9日	950～1,100	9/18～9/28	〃	
はえぬき	8月8～10日	950～1,200	9/19～10/5	刈始め20%	
コシヒカリ つくばSD1号	8月15～17日	1,000～1,200	10/2～10/16	刈始め15%	
はえぬき等 直播	8月15～20日	1,050～1,200	10/5～10/20	刈始め15%	

積算気温は8月26日まで本年値、それ以降は平年値を使用

今年の出穂は、移植後の強風の影響もあり、ほ場毎にバラツキが見られます。また、6月下旬以降に茎数が急激に増加したこともあり、株内の穂揃いにもバラツキがあり、出穂始めから穂揃いまでの日数が長くなっています。

そのため、**刈取り適期の判断が例年よりも難しい年**となる可能性があります。特に、m<sup>2</sup>当たり籾数が多い場合は、刈取り始期が若干遅くなるものの、刈遅れで品質低下しやすくなることから、刈取り適期幅が短くなるため、注意が必要です。

上記積算気温を目安に、**ほ場毎に登熟の状況(青籾歩合・籾水分・枝梗の枯れ具合)**を確認し、総合的に刈取時期を判断する必要があります。



#### 5. コンバイン・乾燥機等の点検は早めに！

適期に刈り取りを行うためにも、コンバイン・乾燥機等の早めの点検を行いましょう。

共同乾燥調製施設でも、品種ごとの適期内刈取りが出来るよう、荷受け計画を立てましょう。

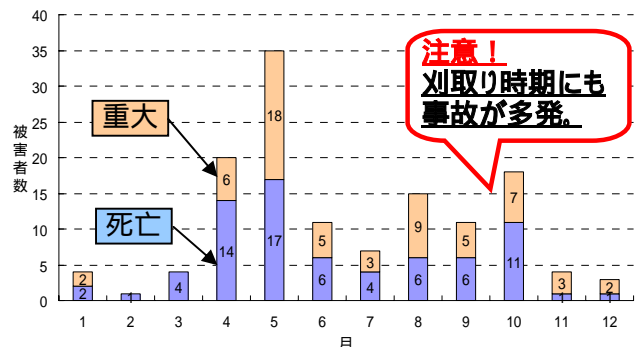
#### 6. 異品種・異物混入(コンタミネーション)の徹底した防止対策を！

異品種・異種穀粒や異物の混入は、これまで徹底してきた栽培管理の努力を台無しにしています。コンバイン・乾燥機・籾摺機などの清掃は処理する品種が変わるごとに徹底して実施しましょう。**品質・食味・安全・安心と混入の無い商品を実需者は求めています。**

**9/1～10/31は「平成20年度 山形県農作業事故防止啓発運動」強化月間です。**

9月～10月は、水稻の収穫時期を迎え、コンバインや脱穀機などの農業機械を扱うため、春に次いで、農作業事故が多くなる時期です。

作業を焦るあまりに、農作業事故を起こす事の無いように、ゆとりある作業計画を立てると共に事前に機械を整備・点検し、機械の操作は慎重に行いましょう。



**山形の新しいお米「山形97号」名称募集中(8月31日締め切り)**